

令和6年度 第1回八代市子ども・子育て会議 会議録(要旨)

- 【日 時】 令和6年7月18日(木) 15時30分～17時00分
【場 所】 八代市役所 3階 301会議室
【出席者】 (副会長) 岩坂 富美委員
松本 展武委員 村本 恭子委員 藤本 一寿子委員
松本 啓佑委員 木村 理恵委員 山本 有璃委員
江口 怜那委員 宇佐美 純代委員
【欠席者】 (会長) 梅野 雄二委員 本吉 菜つみ委員 兒玉 志保委員
山本 由紀委員 寺田 公子委員

【議事内容】

- (1)八代市こども計画の概要について
- (2)八代市こども計画策定のスケジュールについて
- (3)八代市子育てに関するアンケート調査の結果について
- (4)八代市こども計画の骨子(案)について
- (5)その他

議事(1)八代市こども計画の概要について

【資料1説明】

(こども未来課)

次期計画について、「子ども」「子供」「こども」の表記があるが、定義が違うのかという内容で事前に質問をいただいている。

こども基本法では、心と体の発達過程にある人を「こども」として定義している。国の通知でも、法令等に根拠があるなど特別な場合を除き、ひらがな表記を使用するとされているため、基本的に次期計画では「こども」表記を使用するところで進めたい。

(A 委員)

そうすると、資料1の11ページ③「子ども・若者育成支援計画」の「①全ての子ども・若者の健やかな育成」と「②困難を有する子供・若者やその家族の支援」というところは、同じ意味だというふうに捉えてよいか。

(こども未来課)

11ページの③の「子ども・若者育成支援計画」の中の表記は、大綱を見ると全て漢字で載っている。これまでに発せられている法律や大綱については、その表記をそのまま用いるため、訂正させていただきたい。

議事(2)八代市こども計画策定のスケジュールについて

【資料2説明】

議事(3)八代市子育てに関するアンケート調査の結果について

【資料3説明】

議事(4)八代市こども計画の骨子(案)について

【資料4説明】

(B 委員)

現行計画の5年間は、人口も出生数も減り続けている。それらをふまえて、次期計画を立ててほしい。八代市は待機児童ゼロで、子育てもしやすい、妊娠出産のサービスも評価は良いのに、なぜ人口が減るのだろうか。

この計画は、将来の八代市の人口の推移に関わってくるように思える。八代市で家庭を持って、八代市で子育てする人たちが増えないといけない、ということをきちんと考えて作らないといけないと思う。

(こども未来課)

少子化については、市としても大きな課題である。庁内でも横断的に検討しながら次期こども計画にも、少子化対策を盛り込んでいきたい。また、移住定住対策を担う地域振興課を新たに設置したところであり、いろいろな方との連携も含めて検討をしていきたい。

(健康福祉部)

人口減少は日本の中でも最大の問題である。これに関してさまざまな資料をみているが、若い女性が東京に転出することが人口減少に拍車をかける一番の理由ということである。また、今後は婚活も自治体に課せられた一つの課題ではないかと思う。

人口減少は、私達健康福祉部だけではなかなか難しく、全庁的に取り組んでいかなければならない課題だと考えている。

(B 委員)

女性だけでなく、やはり男性も都市部に流れている。今回の会議に商工政策課や都市整備課の職員が出席しているのは、人口問題や少子化などの課題があるからでは。計画策定に向けて、横断的に取り組んで頂き、何か八代市の未来が見えたらいいなと思う。

(C 委員)

一時預かり的なこどもの居場所というのに、ファミリー・サポート・センターがある。放課後は学校から塾に連れて行く場合が多く、お金のある方たちが利用されていると思う。今こういった状況かを教えていただきたい。

(こども未来課)

令和 6 年 3 月末時点での実績は、利用会員が 349 人、提供会員が 57 人、両方の会員が 11 人である。これは、ずっと横ばいできている。内容は、習い事・塾等への送りというのが一番多く、次いで、提供会員宅での預かり、短時間の預かりという状況にある。

提供会員・受け皿の増加に向けて、今年度は 10 月頃に提供会員になってもらうための講習会を予定しており、周知も今後進めていきたい。

(C 委員)

提供会員が 57 人とのことだが、おそらく鏡では 1 人だと思う。多分、そういった状況が少子化を歯止めしていない。私達もお手伝いできるので、この辺もぜひ頑張っていたきたい。

また、塾の送り迎えに利用する家庭は塾の費用を払うことができる家庭である。そういう家庭だけでなく、こどもが何人もいて大変というような家庭にも、提供できるサービスかと思っている。

(A 委員)

男女共同参画に関して委員をさせていただいている。そこで話題になっているのが女性の人口流出である。同じような課題が上がってきている現状を捉えて、それをどのように横で連携されているかというところを伺いたい。

(こども未来課)

男女共同参画計画の間でも関係部署が参画して協議しながら、計画を推進しているが、これまで少子化対策を進めていくという計画等はまだ立っていない。今後、全庁的なところで取り組みを進めていきたい。

(D 委員)

人口減少というところで、県外への就職というのが一番大きいのではないかと。私も一度県外に就職して八代市に帰ってきたが、周りも県外に就職し、そこで結婚して子供を産んでというのが多い。中学 3 年生から高校 2 年生や、大学生を対象にアンケートを取り、希望する就職先を知るのもいいのではないかと。

(こども未来課)

今後、ヒアリングといった形で高校生の声を聞いていきたい。結果は、会議でもお知らせして計画の方にも反映させていきたいと思っている。

閉 会